

# 第 85 回

## 定 期 演 奏 会



1974年6月7日(金)

PM. 6:00

文 京 公 会 堂

明治大学ハーモニカソサエティ



部長  
北島 忠男

中東戦争に端を発した昨年からの石油危機は、物不足などの経済的混乱をまねき、諸物価の高騰という置土産を残しました。このような経済的混乱は各方面から原因究明への論議を呼び起こすと同時に、物質的成長一途に進んできた戦後の政治・経済・文化への強い反省をうながし、真の人間生活はどうあるべきかといった根本的な問題への探究を、あらためて問いかけることとなりました。

こうしたなかにあつて、われわれ明治大学ハーモニカ・ソサエティーは、学業に専念する傍ら、真の人間生活を営んで行くための一つのよりどころである音楽への情熱を燃やしつづけ、その研鑽の道を歩みつづけてまいりました。この3月には18名という大量の卒業生を世に送りましたが、4月には新たに20数名の部員を迎え、今迄にもまして意気盛んに音楽活動にうち込みはじめております。

本日ここに第85回・春季定期演奏会を開催することになりましたことは、真によろこびにたえないところです。新入生にとっては最初の演奏会ですので、未だ未だ未熟なところも多いことと存じますが、今宵の演奏会の成功を念じながら、ご来場下さいました皆様のいっそうのご支援とご鞭撻を心からお願い申し上げます。

新緑の候、貴明治大学ハーモニカ・ソサエティー第85回定期演奏会が催されるにあたり、我々明治大学マンドリン倶楽部部員一同心からお祝い申し上げます。

大正8年に創設された貴クラブは文字通り私達マンドリン倶楽部の兄貴分であると共に良きライバルであると思っております。

私達とは歩む道が異なるかもしれませんが、音楽というものつきつめてゆけば同じ道に到着すると思えます。同じ音楽の道を歩む我々、お互いがんばろうではありませんか。最後に本日の演奏会が、ハーモニカの美しい調べによって、すばらしい演奏会になりますようお願いしております。

## 明治大学マンドリン倶楽部

若葉の香もさわやかに、初夏という呼び方がピッタリとなじむ季節となりました。

明治大学ハーモニカ・ソサエティーは、今宵ここ文京公会堂におきまして第85回定期演奏会を開催するはこびとなり、私共部員一同大きな喜びとするところであります。

今年3月、18名という大量の卒業生を送り出しましたが、それを上回る新入生を迎え入れ、4月より練習に励んでまいりました。未熟な演奏ではございますが、私共の演奏が少しでも皆様方にお楽しみ頂ければ幸いです。終演まで、ごゆっくりお楽しみ下さいませ。

最後に、この演奏会のために会場整理に当たって下さいました早稲田大学ハーモニカ・ソサエティーの方々、並びに御多忙にも拘らず御来場下さいました皆様方に心から御礼申し上げます。

明治大学ハーモニカ・ソサエティー  
部員一同

